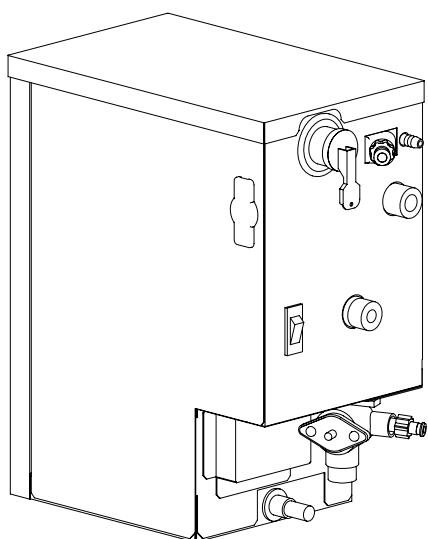


洗面組み込み型電気温水器 適温給湯壁掛けタイプ

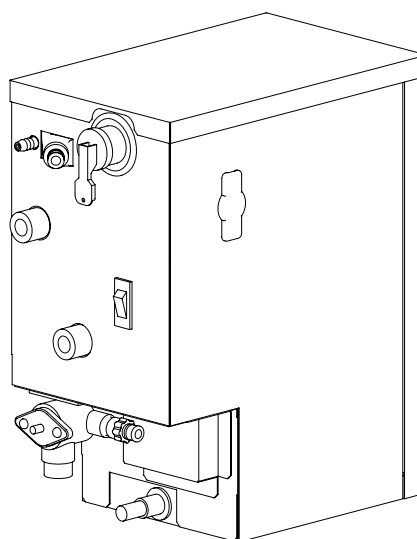
先止め式 減圧弁、逃し弁内蔵型、屋内設置専用

型式 EH-03L EH-03R

EH-03L



EH-03R



このたびはタカラ小型電気温水器をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございました。
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。また、お読みになった後は、工事説明書、付属品とともに、いつでもご覧になれるところに大切に保管してください。

●この取扱説明書は保証書付です。販売店からお受け取りになる際に、必要事項が記入してあるか必ず確認してください。

もくじ

・ 安全上のご注意	1
・ ご使用にあたってのお願い	4
・ 各部の名称と働き	5
・ ご使用前の準備	8
・ ご使用方法	9
・ 停電/断水/水道工事のときは	11
・ 日常のお手入れ	12
・ 使用しないときは	15
・ 凍結予防のしかた	16
・ 定期点検のおすすめ（有料）	17
・ 故障・異常の見分けかたと処置方法	18
・ アフターサービス	19
・ 仕様	20
・ 保証書	22
・ よくあるご質問	裏表紙



安全上のご注意

安全のために必ずお守りください

- ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 表示と意味は、次のようになっています。

 警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷を負う可能性が想定される内容。	 注意	誤った取扱いをしたときに、傷害を負う可能性、および物的損害の発生が想定される内容。
---	-----------------------------------	---	---

- 図記号の意味は、次の通りです。

	禁止行為（してはいけないこと） 絶対に行わないでください。		行為の指示（必ずすること） 必ず指示に従って行ってください。
---	---	--	--

- お読みになった後は、お使いになる方がいつでもご覧になれる所に大切に保管してください。

警告

- 異常・故障時には、直ちに使用を中止すること
発煙・発火、感電、やけどの原因になります。

次のようなことがある場合、すぐに使用を中止し、故障や事故防止のため、販売店（据付工事店）または、修理受付フリーダイヤルに点検・修理（有料）をご相談ください。

- ・使用中に、こげくさい臭いがしたり、異常な音や振動がする。
- ・設置場所が濡れている。
- ・お湯がぬるい。
- ・温水器用の漏電しゃ断器が動作する。
- ・その他の異常・故障がある。

▶ P19 アフターサービス



必ず実施

- 分電盤等に温水器用の漏電しゃ断器が取り付けられているか確認すること
感電や火災の原因になります。



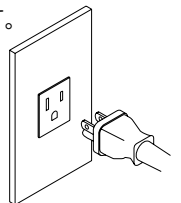
必ず実施

- アース工事（D種接地工事）されているか確認すること

故障や漏電のときに感電の原因になります。アースの取り付けは販売店にご相談してください。



アース線接続



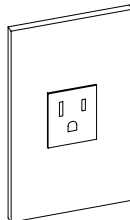
- 電源は定格 15A 以上の交流 100V 専用コンセント（接地極付）を使用すること

火災、感電の原因になります。



必ず実施

15A 以上
AC100V
接地極付



- コンセントや配線器具の定格を超える使いかたをしないこと

火災の原因になります。



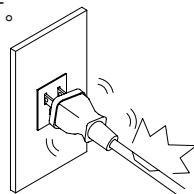
禁止

- 電源コードや電源プラグが痛んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは、使用しないこと

感電、ショート、発火の原因になります。



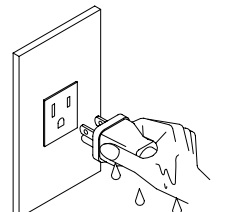
禁止



- 電源プラグは、濡れた手で抜き差ししないこと
感電の原因になります。



禁止



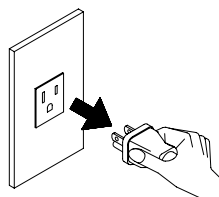
警告

- 電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜くこと

感電、ショート、発火の原因になります。



必ず実施



- 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引張ったり、重いものを載せたり、挟み込んだりしないこと

電源コードが破損し、火災、感電の原因になります。



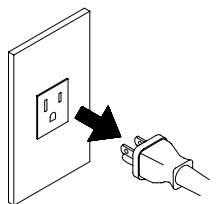
禁止

- お手入れのときは、必ず電源プラグをコンセントから抜くこと

感電の原因になります。



必ず実施



- 1か月に1回程度、電源プラグの刃などについてホコリを取り除くこと

火災の原因になります。



必ず実施

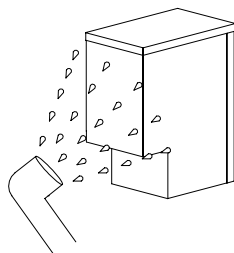
▶▶ P12 日常のお手入れ

- 温水器に水をかけないこと

感電、故障の原因になります。



禁止

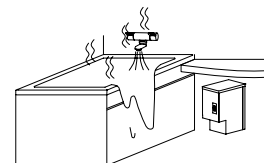


- 屋外や表面に結露が生じるような湿気の多い場所、水がかかる場所、特に浴室やシャワールームに取り付けられていないか確認すること

感電、誤動作の原因になります。



必ず実施

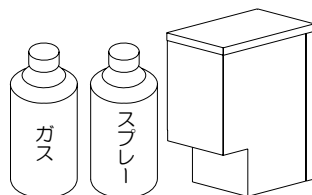


- 温水器の近くにガス類や引火物を置かないこと

発火の原因になります。



禁止

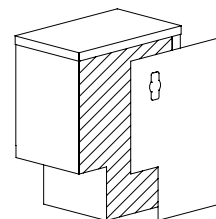


- 前面カバー・点検窓を開けないこと

感電の原因になります。



禁止

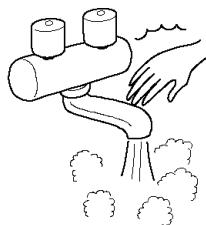


- 給湯時は湯水混合せんのハンドル以外の部分に手を触れないこと

やけどの原因になります。



接触禁止

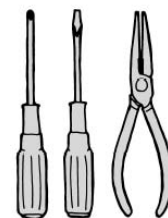


- 絶対に分解・修理・改造しないこと

火災、感電、けがの原因になります。修理は販売店にご相談してください。



禁止

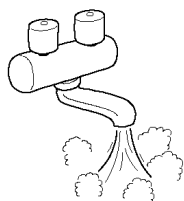


- 給湯時は熱湯に触れないこと

やけどの原因になります。



接触禁止



- 逃し弁点検時は、配管や膨張水排水のホースに手を触れないこと

やけどの原因になります。



接触禁止

安全上のご注意

警告

- 排水は必ずお湯を使い切ってから行うこと
やけどの原因になります。



必ず実施

- 空気吸込みせんを操作するときは、必ずお湯を使い切って、冷めたことを確認してから操作すること
やけどの原因になります。



必ず実施

注意

●そのまま飲用しないこと

長期間のご使用によってタンク内に水アカがたまったり、配管材料の劣化等により水質が変わることがあります。飲用される場合は、下記のことにご注意し、必ず一度やかんなどで沸騰させてください。

- ・必ず水道法に定められた飲料水の水質基準に適合した水道水を使用してください。
- ・あついお湯が出てくるまでの水（配管内にたまっている水）は雑用水としてお使いください。
- ・固形物や変色、濁り、異臭があった場合には、飲用せずに直ちに販売店（据付工事店）へ点検の依頼を行ってください。



禁止

●水道水を使用していることを確認すること

必ず水道法に定められた飲料水の水質基準に適合した水道水を使用してください。
井戸水、地下水、温泉水は使用できません。
水道水であっても塩分、石灰分、その他不純物が多く含まれている水質や酸性水質での使用はさけてください。
機器の詰まりや腐食など故障の原因になります。



必ず実施

●タンクを満水にしてから電源を入れること

過熱し故障の原因になります。

⇒ P8 ご使用前の準備



必ず実施

●落雷の可能性がある場合は、あらかじめ電源プラグをコンセントから抜いておくこと

故障の原因になります。



必ず実施

●1か月以上使用しないときは必ず、電源スイッチを「OFF（切）」にして、電源プラグをコンセントから抜き、温水器と配管内の水を確実に抜くこと

絶縁劣化による感電や漏電、火災の原因になります。
凍結のおそれや水質が変化することがあります。
1か月未満の使用しないときでも凍結のおそれがあるときは、排水してください。

⇒ P15 使用しないときは



必ず実施

●凍結予防対策の確認をすること

凍結するとタンクや配管が破裂して、やけどや水漏れの原因になります。

⇒ P16 凍結予防のしかた



必ず実施

●冬場に漏電しゃ断器の電源レバーを「OFF（切）」にするとときは、電源スイッチを「OFF（切）」にし、電源プラグをコンセントから抜き、温水器と配管内の水を確実に抜くこと

配管が凍結し、水漏れの原因になります。

⇒ P15 使用しないときは



必ず実施

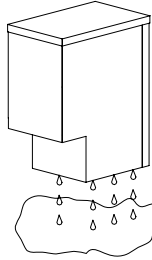
⚠ 注意

●水漏れがないか点検すること

水漏れが起きた場合、階下などに被害を及ぼすおそれがあり、大きな被害につながる可能性があります。



必ず実施



●機器に乗ったり、濡れたものや洗剤などを載せたり、配管に力を加えたりしないこと

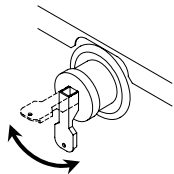
故障、事故、やけど、水漏れの原因になります。



禁止

●逃し弁の点検をすること

タンクが破損したり、逃し弁などからの水漏れにより、やけどや大きな被害につながる可能性があります。



▶▶ P12 日常のお手入れ



必ず実施

●この機器は車両、船舶での使用はできません

機器が故障し、感電、水漏れの原因になります。



禁止

●湯を出し始める時は、必ず水側から出すこと

湯だけを出すと、熱湯でやけどの原因になります。

シングルレバー湯水混合せんの場合

温度調節レバーを一旦、水側に回してから水を出した後、レバーを湯側に回して、温度を調節してください。
使用後は必ずレバーを水側に回してから閉めてください。
(湯側のまま閉めると、再使用時に熱湯が出て、やけどするおそれがあります。)

2ハンドル湯水混合せんの場合

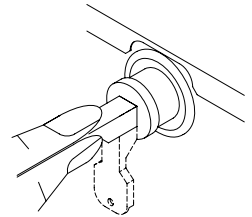
水側を開けた後に湯側を開けて温度を調整してください。
使用後は、必ず湯側から閉めてください。
(水側を先に閉めると、再使用時に熱湯が出て、やけどするおそれがあります。)



必ず実施

●逃し弁のレバーを操作するときは、レバーをしっかりとつまみながら操作すること

しっかりとつままないで操作した場合、レバーと弁の間に指をはさむおそれがあります。



必ず実施

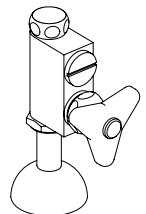
ご使用にあたってのお願い

●お湯を上手に使うこと

1回に使用できるお湯の量には限りがあります。
お湯は出しっぱなしにしないでこまめに止めましょう。

●温水器の止水せんがどこにあるか確認すること

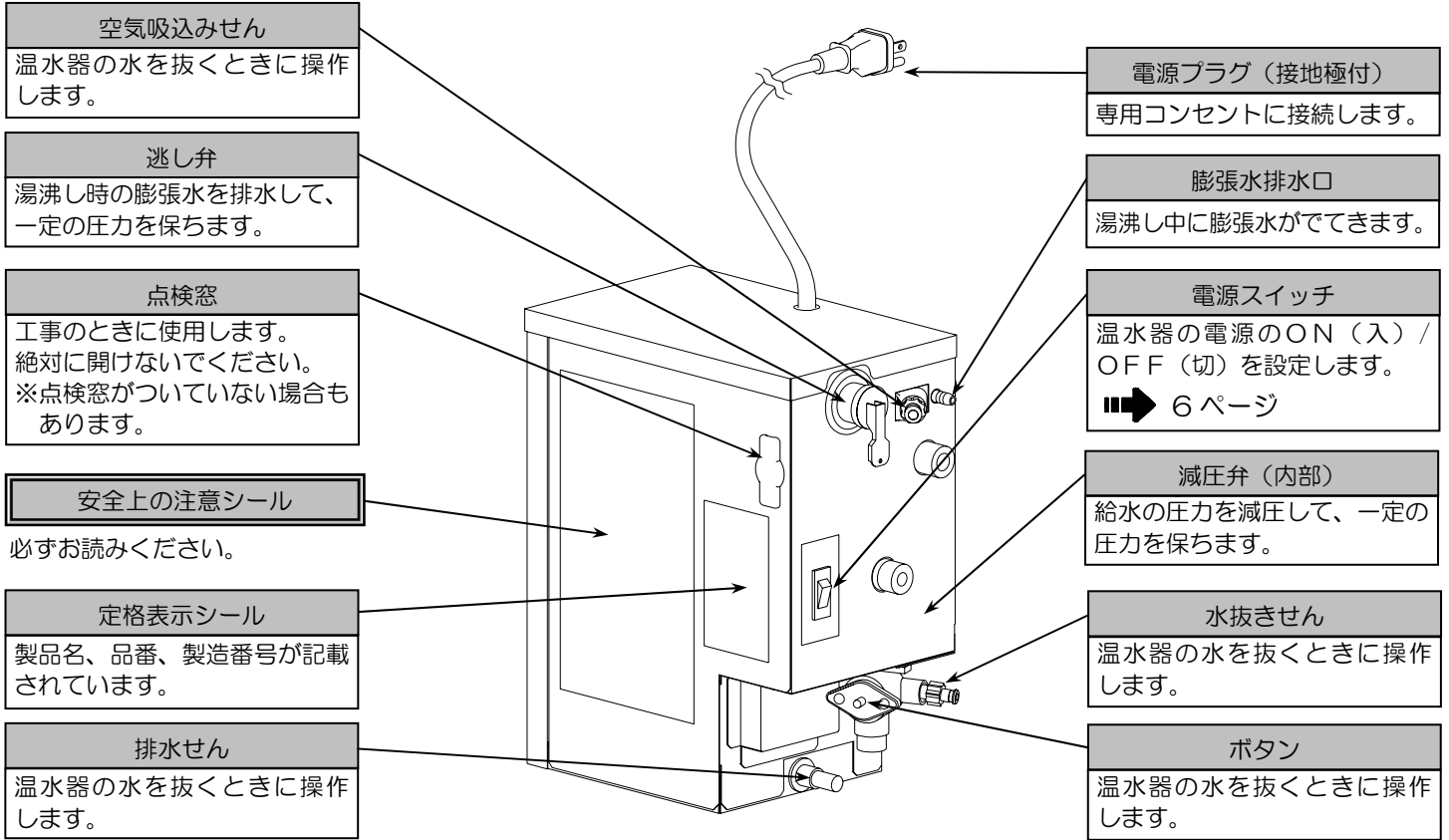
- ・温水器の水抜き、万一の水漏れ、故障の際に閉じると水は止まります。
- ・ふだん温水器を使用しているときは開いておきます。



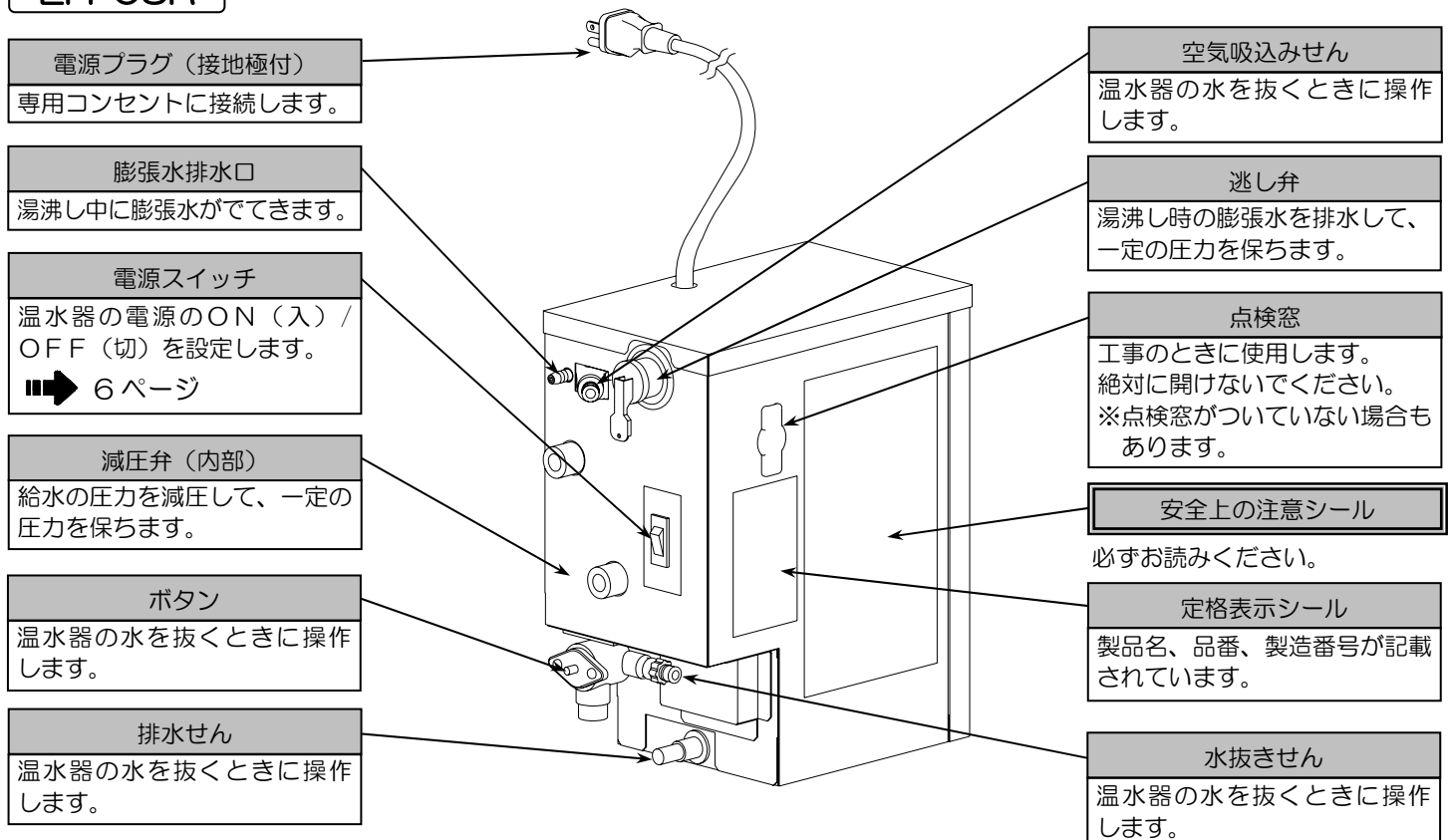
各部の名称と働き

本体

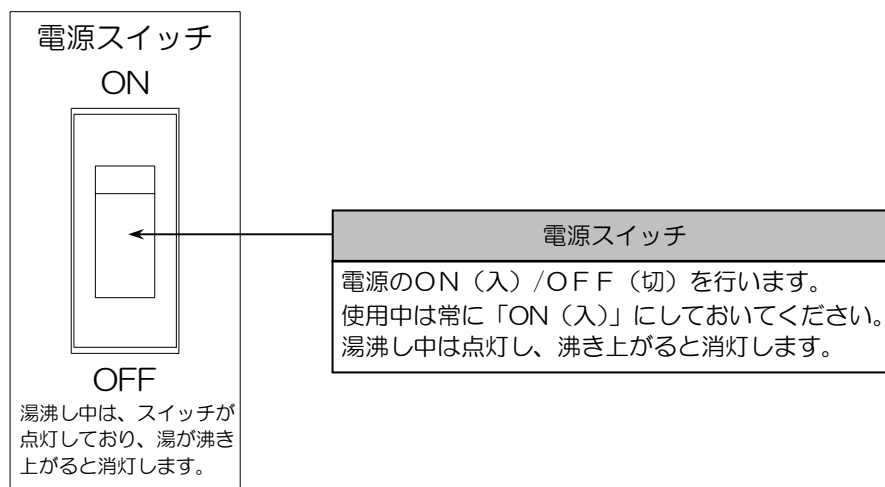
EH-03L



EH-03R



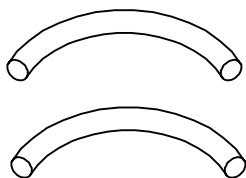
操作部（電源スイッチ）



付属部品

温水器に付属されている部品です。
すべて揃っているか確認してください。

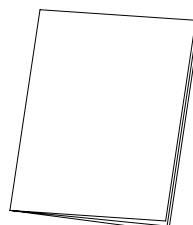
排水用ビニールホース
(φ9、250mm) 2本



取扱説明書



工事説明書



各部の名称と働き

本体据付図例

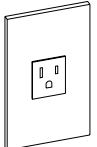
標準配管例
設置場所、湯水混合せんなどにより配管が異なることがあります。

EH-03L

⚠ 警告

■ 接地極のないコンセントには接続できません。故障や漏電のときに感電の原因になります。

接地極付コンセント例



コンセント (接地極付)

電気温水器本体

給水配管

排水トラップ

給水配管止水せん (フィルター付)

湯水混合せん

同圧給水配管

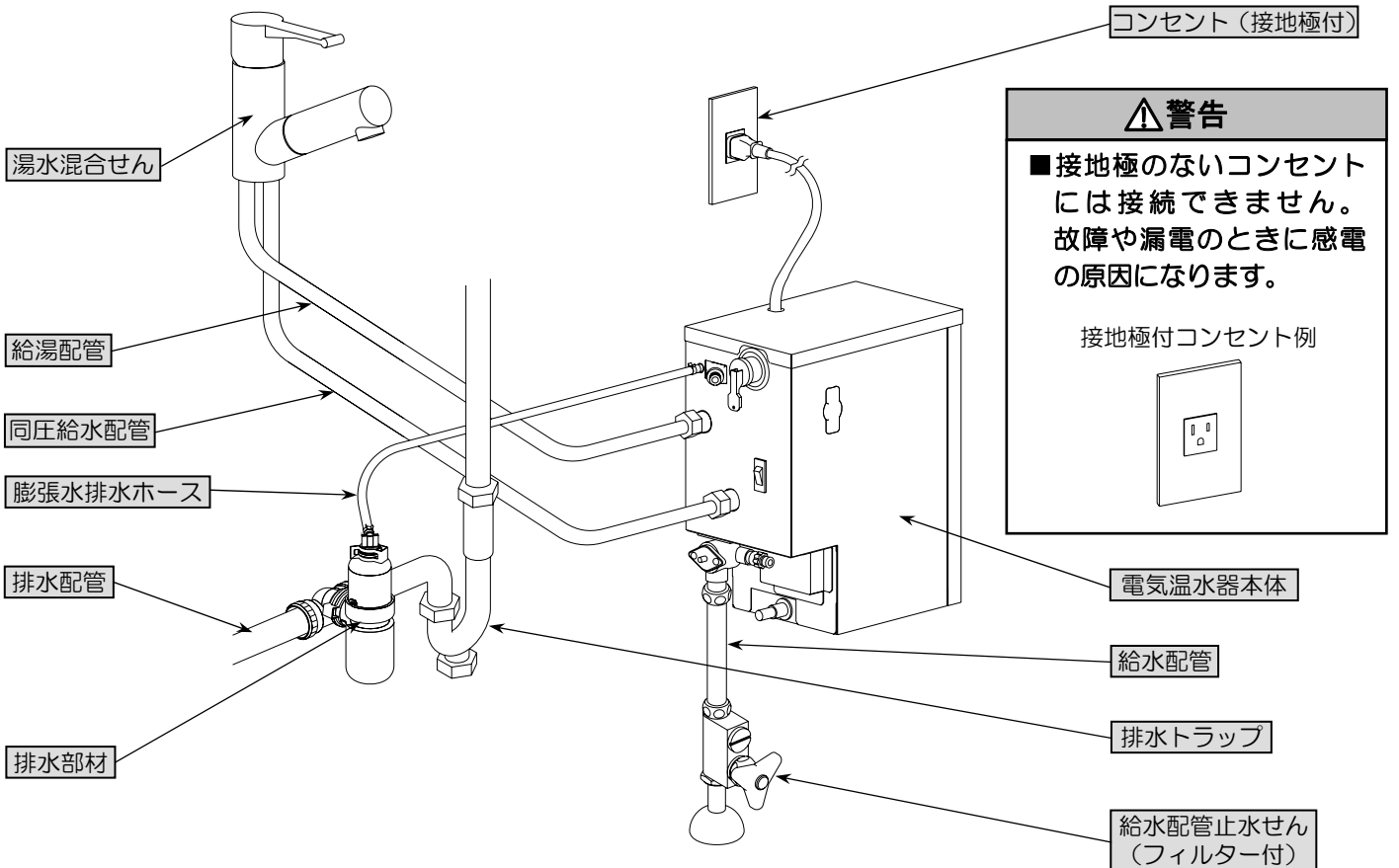
給湯配管

膨張水排水ホース

排水配管

排水部材

EH-03R

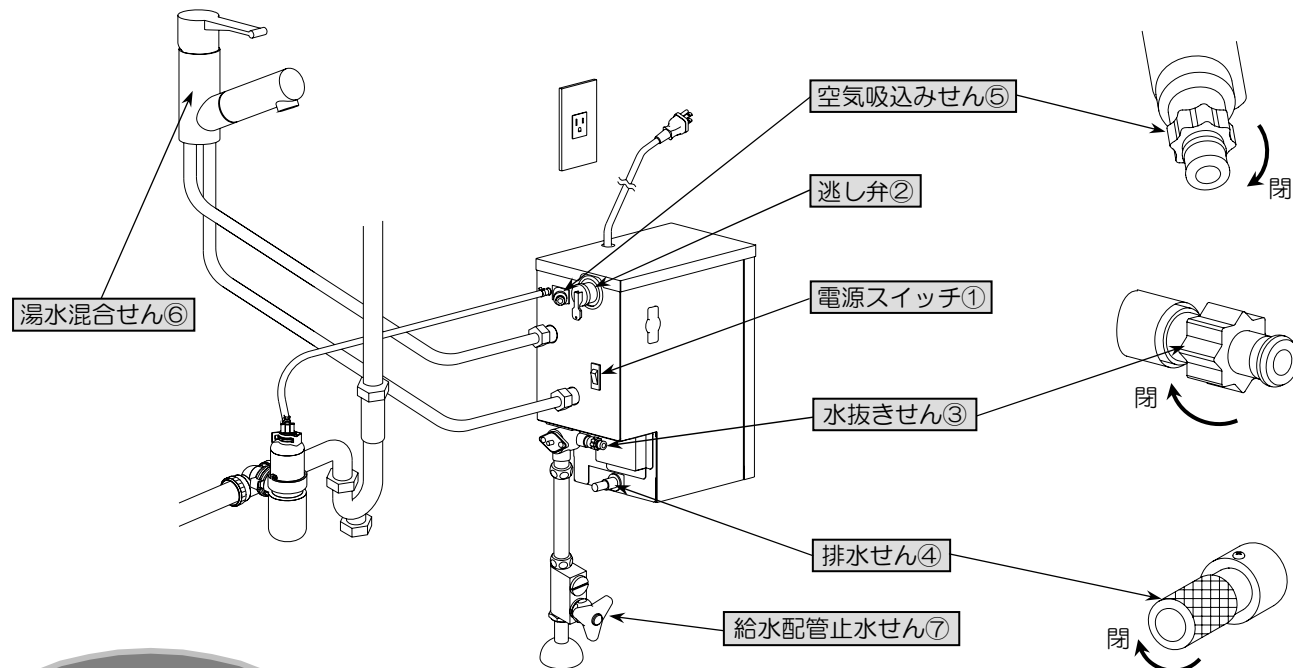


ご使用前の準備

温水器の使い始めや、水抜き後に温水器を使い始める場合は、次の手順で操作してください。

方法がわからないときは、据付工事店（販売店）へご相談ください。

※イラストは代表例として、EH-O3R を示しています。EH-O3L とは各接続部などの向きや配置が異なります。

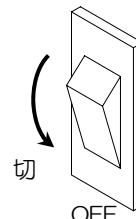


はじめに

1. 正しくご使用いただくために、洗面化粧台、湯水混合せんなどの取扱説明書をよくお読みください。
2. 感電防止のために、アース工事（接地極付きコンセントの使用）がされていることを確認してください。
3. 電源スイッチ①が「OFF（切）」になっていることを確認してください。

⚠ 注意

■温水器の満水を確認するまでは、絶対に電源を入れないでください。
過熱し故障の原因になります。

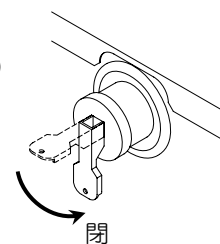


1 給水の準備をします。

1. 逃し弁②のレバーを下げ、水抜きせん③、排水せん④、空気吸込みせん⑤を閉じます。（排水後などですでに下がっていたり、閉じている場合があります。）

⚠ 注意

■水抜きせん、排水せん、空気吸込みせんが開いていると、給水時にそこから水が出てきます。確実に閉じてください。



2. 湯水混合せん⑥をお湯が出るように開けます。
（シングルレバー湯水混合せんの場合、お湯側全開に調節して開けます。2ハンドル湯水混合せんの場合、お湯側のハンドルを開けます。）

2 温水器を満水にします。

1. 給水配管止水せん⑦を開きます。（温水器への給水が始まります。）
2. 湯水混合せん⑥より空気混じりの水から連続的に水が出ることを確認し、湯水混合せん⑥を閉じます。
3. 温水器や配管からの水漏れがないか確認してください。

【お知らせ】

- 温水器が空の状態から、満水になるまで約 1 分です。
- 給水中に湯水混合せんから水と空気が混ざりポコポコと音がすることがありますが、異常ではありません。水が連続して出るまでお待ちください。

ご使用方法

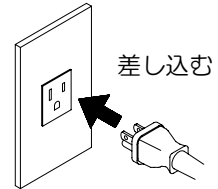
運転（湯沸し）方法

⚠ 注意

- 温水器の満水を確認するまでは、絶対に電源を入れないでください。過熱し故障の原因になります。

1 電源プラグをコンセントに差し込みます。

電源プラグは温水器専用の15A以上のコンセントに根元まで確実に差し込みます。

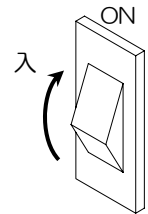


⚠ 警告

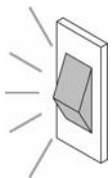
- 電源プラグがコンセントにしっかり差し込まれていないと、火災や感電の原因になります。

2 電源スイッチを「ON（入）」にします。

約75℃になるまで湯沸しを行います。（湯沸し温度は沸上がり直後のタンク内の温度です。沸上がり温度は約4～5℃ばらつくことがあります。）
湯沸し中は電源スイッチが点灯し、お湯が沸き上がると自動で消灯します。
タンク内の湯温が下がると再び湯沸しを開始します。

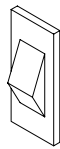


湯沸し中



点灯

沸き上がり後



消灯

● 沸き上がる時間の目安

タンク内温度 (タンク全量が給水温度の時)	5℃ (冬期)	15℃	25℃ (夏期)
沸き上がる時間の目安	約 23 分	約 20 分	約 17 分

● 使える湯量の目安 (温水器からの給湯温度は約 36℃です。)

タンク内温度 (タンク全量が沸き上がっている時)	75℃		
給水温度	5℃ (冬期)	15℃	25℃ (夏期)
使える湯量の目安	約 6L	約 7.5L	約 12L

ご注意

- 一度に使えるお湯には限りがあります。お湯を出しっぱなしにしないで、湯水混合せんをこまめに止めるなど、上手にお湯をご使用ください。
- 冬期など、凍結のおそれがある場合は、電源スイッチを「OFF（切）」にしないでください。

給湯方法

温水器からの給湯温度は約 36℃です。

※ 給湯温度の調節はできません。給湯温度は、環境及び、タンク内の温度によって多少上下することがあります。

※ サーモスタット付湯水混合せんは使用できません。

※ 湯水混合せんの操作方法の詳細は、湯水混合せんの取扱説明書にしたがってご使用ください。

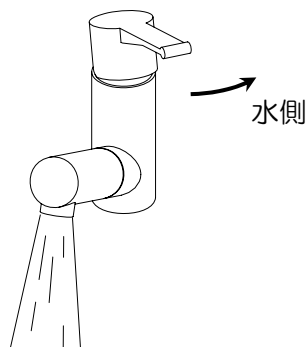
⚠警告

■ やけどの原因になりますので以下のことに注意してください。

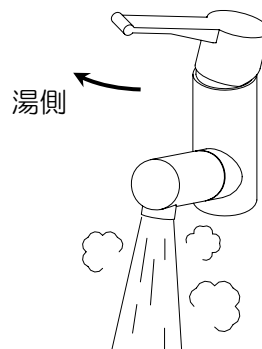
- ・ 給湯時は湯水混合せんのハンドルやレバー以外には触れないでください。
- ・ 給湯時は必ず水側から開けてください。
- ・ 湯沸し中の給湯や沸き上がり後の最初の給湯時は、空気の混ざったお湯が飛び散ることがあります。
- ・ 使用後は、シングルレバー湯水混合せんの場合、必ずレバーを水側に回してから閉めてください。2ハンドル湯水混合せんの場合、必ずハンドルを湯側から閉めてください。再使用時にあついお湯が出る可能性があります。

シングルレバー湯水混合せんの場合

1 温度調節レバーを一旦、水側に回して水を出してください。

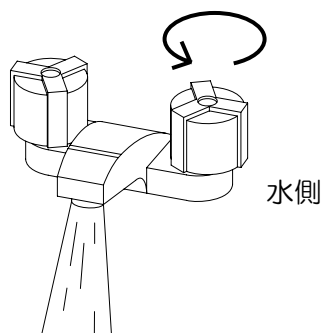


2 温度調節レバーを徐々に湯側に回して、温度を調節してください。

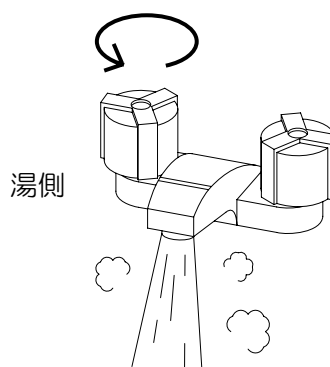


2ハンドル湯水混合せんの場合

1 水側を開け、水を出してください。



2 湯側を開けて、温度を調節してください。



停電・断水・水道工事のときは

停電のとき

- ・停電直後、しばらくは給湯することはできますが、湯沸しはできません。

断水・水道工事のとき

- ・断水や水道工事のときは、給水配管止水せんを閉じてください。
- ・断水や水道工事終了後、本温水器を接続していない湯水混合せんの水側を開けて、濁った水が出なくなったことを確認してから給水配管止水せんを開けてください。

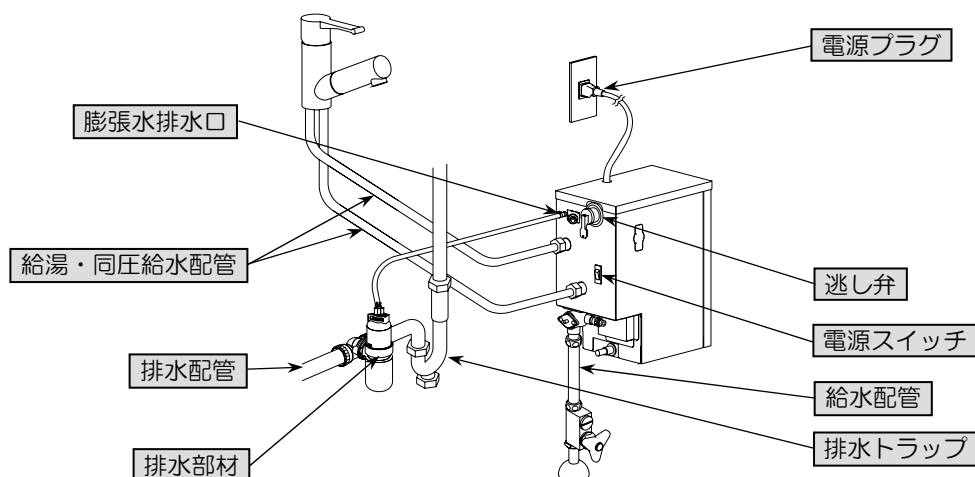
ご注意

- 濁った水が温水器内に入ると、温水器給水口のストレーナや給水配管止水せんのフィルターを詰まらせてお湯の出が悪くなったり、温水器内のお湯を濁らせてしまうことがあります。

日常のお手入れ

長く快適にご使用いただくためには、日頃のお手入れが必要です。
安全にお手入れしていただくために、ゴム手袋などの着用をおすすめします。

※イラストは代表例として、EH-O3Rを示しています。EH-O3Lとは各接続部などの向きや配置が異なります。



配管の確認 (日常)

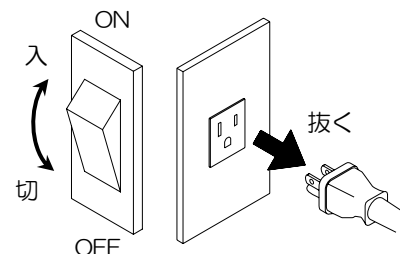
配管の保温材破損や水漏れ、温水器からの水漏れなどがないか確認します。マンションなどの中・高層住宅で水漏れが起きた場合、階下に被害を及ぼすことがあります。

電源プラグの清掃 (1か月に1回)

- 1 電源スイッチを「OFF (切)」にします。
- 2 電源プラグをコンセントから抜き、電源プラグやコンセントについたほこりを取り除きます。
- 3 電源プラグをコンセントに差し込み、電源スイッチを「ON (入)」にします。

警告

■電源プラグは濡れた手で触らないこと。感電の原因になります。



逃し弁の確認 (1年に2~3回)

- 1 電源スイッチを「OFF (切)」にしたとき、または、電源スイッチが点灯していないときに膨張水排水口から水 (湯) が出していないことを確認します。
- 2 逃し弁のレバーを上げて、膨張水排水口から水 (湯) が排水部材に流れることを確認します。

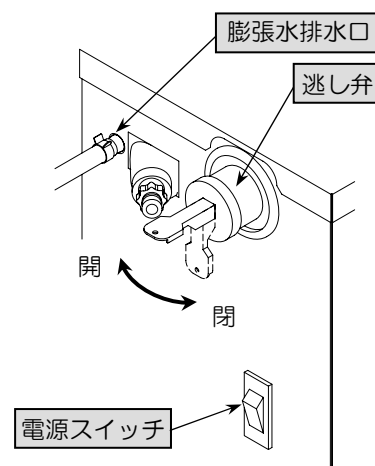
警告

■膨張水排水口より熱いお湯が出る場合がありますので、やけどに注意してください。

注意

■逃し弁のレバーを操作するときは、レバーをしっかりとつまんで操作してください。しっかりとつままないで操作した場合、レバーと弁の間に指をはさむおそれがあります。

- 3 逃し弁のレバーを下げて、膨張水排水口から水 (湯) が止まることを確認します。



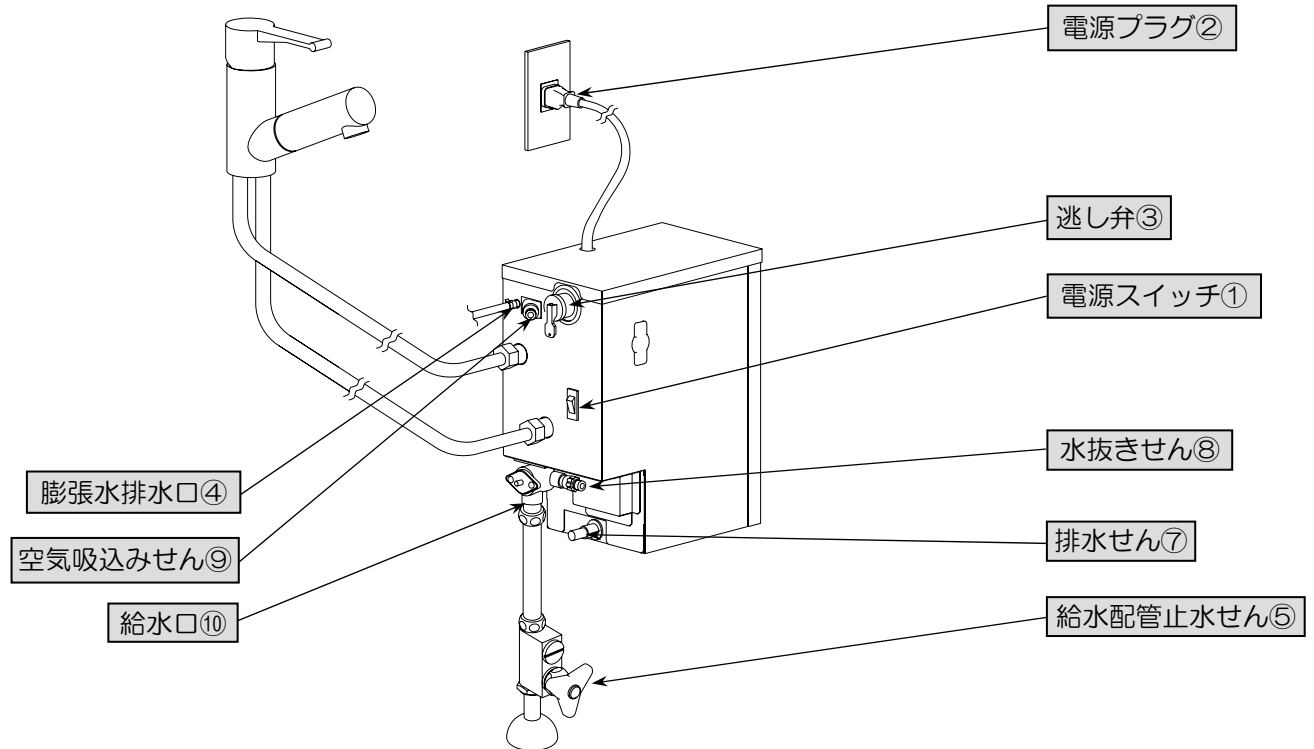
日常のお手入れ

タンク内の清掃（1年に2～3回）

温水器の排水、給水を行い、汚れを流し出します。

1. 清掃準備（温水器の排水）

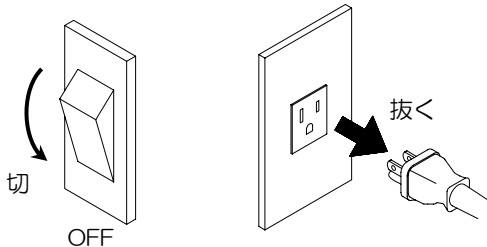
※イラストは代表例として、EH-O3Rを示しています。
EH-O3Lとは各接続部などの向きや配置が異なります。



- 1 電源スイッチ①を「OFF（切）」にして、電源プラグ②をコンセントから抜きます。

⚠ 警告

■電源プラグは濡れた手で触らないこと。感電の原因になります。

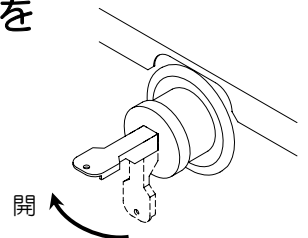


- 2 温水器のお湯を使い切ります。

⚠ 警告

■タンクにお湯が残ったまま排水すると、やけどをするおそれがあります。必ず湯水混合せんからのお湯が水になるまで使ってから排水してください。

- 3 逃し弁③のレバーを水平に上げます。

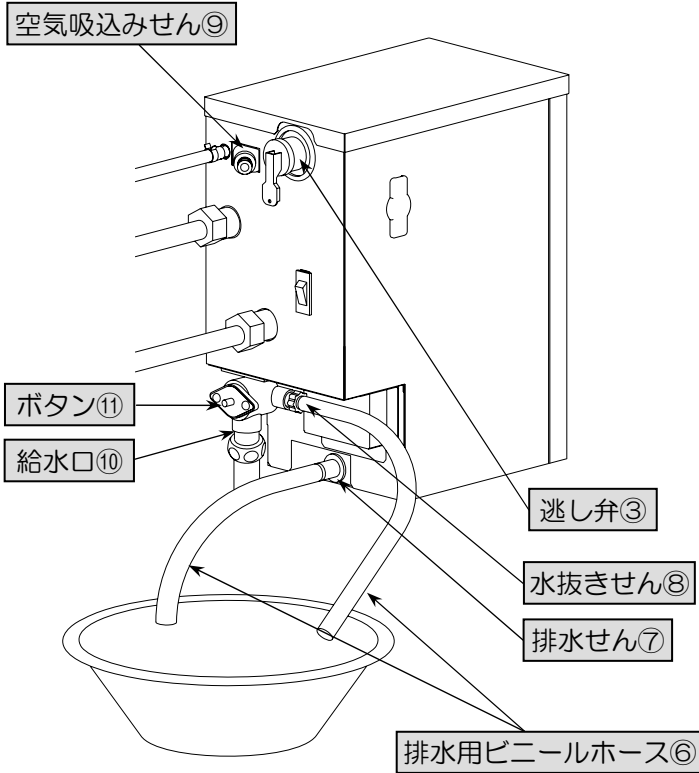


⚠ 注意

■逃し弁のレバーを操作するときは、レバーをしっかりとつまんで操作してください。しっかりとつままないで操作した場合、レバーと弁の間に指をはさむおそれがあります。

- 4 約20秒間、膨張水排水口④より水が出ることを確認し、逃し弁③のレバーを下げます。

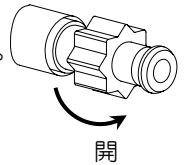
- 5 給水配管止水せん⑤を閉めます。



- 9** 逃し弁③のレバーを水平に上げ、排水します。
 逃し弁③のレバーを上げると排水せん⑤より排水がはじまります。
 排水せん⑤の差し込み部から水がしみ出してくることがあります。
 約3Lの水が排水されます。
 排水を一旦止めたいときは、逃し弁③のレバーを下げると止まります。
 排水するのに約5分かかります。

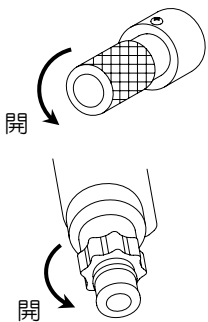
⚠ 注意
 ■ 逃し弁のレバーを操作するときは、レバーをしっかりとつまんで操作してください。しっかりとつままないで操作した場合、レバーと弁の間に指をはさむおそれがあります。

- 10** 排水せん⑤から水が出なくなったら、水抜きせん④を約1回転開けて、排水します。
 水抜きせん④より排水されます。
 排水せん⑤からも少量の水が排水されます。



⚠ 注意
 ■ 水抜きせんを開けすぎると水抜きせんがはずれ、水抜きせん差し込み部から水が出てきます。

- 6** 温水器付属の排水用ビニールホース⑥を排水せん⑤、水抜きせん④にそれぞれ取り付けます。
 ホースの先を洗面器などで受けてください。
- 7** 排水せん⑤を全開にします。
 排水せん⑤より少量の水が出ることがあります。
- 8** 空気吸込みせん⑦を約1回転開けます。



- 11** 排水せん⑤、水抜きせん④共に水が出なくなったら、給水口⑧の上にあるボタン⑧を押します。
 水抜きせん④より少量の水が排水されることがあります。

2.清掃

- 1** 「1.清掃準備（温水器の排水）」の項（13ページ）にしたがって、温水器内の水の排水を行います。
- 2** 「ご使用前の準備」の項（8ページ）にしたがって、温水器への給水を行います。
- 3** 排水がきれいになるまで ①と②を繰り返します。
- 4** 排水がきれいになったら、②を行って、再びご使用ください。

使用しないときは

長期不使用时（温水器を1か月以上使用しないとき）

凍結によるタンクや配管の破損、水漏れの防止とタンク内の水を清潔に保つために水抜きをしてください。

冬期など凍結のおそれがある場合

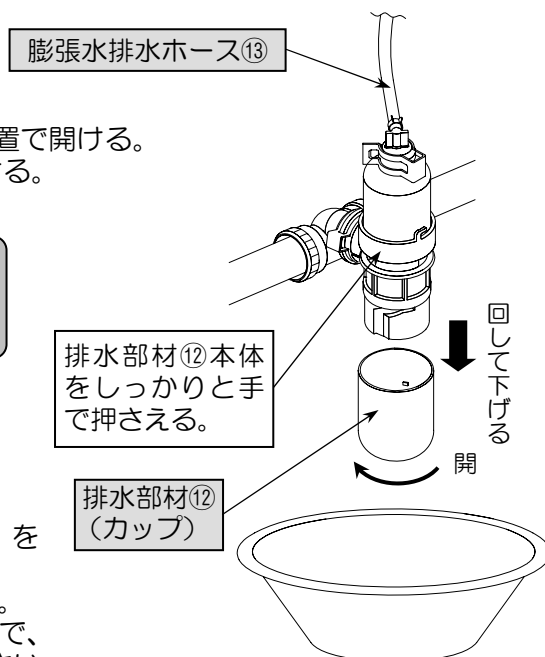
① 「タンク内の清掃」の項（13、14ページ）の「1.清掃準備（温水器の排水）」にしたがって、温水器内の水を排水します。

② 湯水混合せんを開けます。
※湯水混合せんは、仕様によって開ける位置が異なります。
シングルレバー湯水混合せんの場合、湯側と水側の中間位置で開ける。
2ハンドル湯水混合せんの場合、湯側と水側の両方を開ける。
※排水せん⑦や水抜きせん⑧より水が出てきます。

ご注意

■湯水混合せんの水抜きは、湯水混合せんの取扱説明書にしたがって行ってください。

③ 排水部材⑫の下部（カップ）をはずし、下部に溜まっている水を捨てます。
※排水部材⑫の取付位置は施工状況によって異なります。「各部の名称と働き」の項（7ページ）の「本体据付図例」を参考にしてください。
※カップをはずすときは、下を洗面器などで受けてください。
※膨張水排水ホース⑬に水が溜まっている場合がありますので、ホースを傾け、ホース内の水を排水部材⑫に排水してください。
※カップをはずすときは、排水部材⑫の本体をしっかりと手で押さえてください。



④ 排水部材⑫本体からの排水が止まったことを確認し、排水部材⑫の下部（カップ）を元通りに取り付けます。

⑤ 排水せん⑦、水抜きせん⑧からの排水が止まったことを確認し、逃し弁③のレバーを下げ、湯水混合せん、排水せん⑦、水抜きせん⑧、空気吸込みせん⑨を閉めます。

夏期など凍結のおそれがない場合

① 上記「冬期など凍結のおそれがある場合」の①と②にしたがって、温水器の水を排水します。

② 排水せん⑦、水抜きせん⑧からの排水が止まったことを確認し、逃し弁③のレバーを下げ、湯水混合せん、排水せん⑦、水抜きせん⑧、空気吸込みせん⑨を閉めます。

いずれの場合も再びご使用になるときは、「ご使用前の準備」の項（8ページ）にしたがって操作してください。

使用しないときは

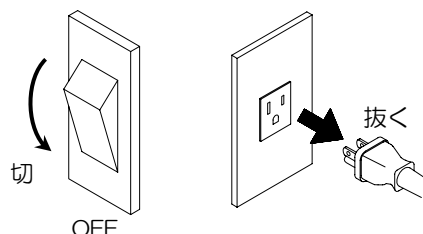
短期不使用時（温水器を1か月未満で使用しないとき）

電源スイッチ及び、給水配管止水せん的位置は、「タンク内の清掃」の項（13ページ）の「1.清掃準備（温水器の排水）」の図を参考にしてください。

- 1 温水器の電源スイッチを「OFF（切）」にし、電源プラグをコンセントから抜きます。

△ 警告

- 電源プラグは濡れた手で触らないこと。感電の原因になります。



- 2 給水配管止水せんを閉めます。

再びご使用になるときは、タンク内の水を入れ替えてからご使用ください。

ご注意

- 凍結のおそれがあるときは、1か月未満で使用しないときでも「長期不使用時」の項（15ページ）の「冬期など凍結のおそれがある場合」にしたがって排水してください。

凍結予防のしかた

冬期は寒冷地だけでなく、温暖な地域でも思わぬ寒波で気温が0℃以下になることがあります。配管が凍結すると温水器がつかえないばかりか、温水器や配管が破損することがあります。地域にあった方法で凍結予防をしてください。

凍結防止ヒーターを巻く方法

- ・ 凍結のおそれのあるすべての配管に市販の凍結防止ヒーターを巻き、通電して凍結を予防します。
- ・ 凍結防止ヒーターが施工されている場合、寒冷時になる前に凍結防止ヒーターの差し込みプラグをコンセントに差し込んでください。

水を抜く方法

- ・ 温水器や排水部材などの水を抜き、凍結を予防します。
- ・ 「長期不使用時」の項（15ページ）の「冬期など凍結のおそれがある場合」にしたがって、温水器と排水部材内の排水を行ってください。

定期点検のおすすめ（有料）

温水器を長年にわたり安心して快適にご使用いただくためには、専門技術者による定期点検整備をおすすめします。定期点検整備は、機能部品、消耗部品などの点検、交換、清掃を行います。逃し弁、減圧弁など、設置条件、使用条件によって劣化しやすい消耗部品があり、定期的な点検が必要です。長年にわたり（10年程度）使用されている場合は、毎年「定期点検」をお受けください。ただし補修用性能部品を保有していますが、長年使用されている場合、部品によってはご用意できない場合がありますので、ご容赦願います。

定期点検整備のお申し込みやお問い合わせは、お買い求めの販売店にご連絡ください。

定期点検整備の主な内容

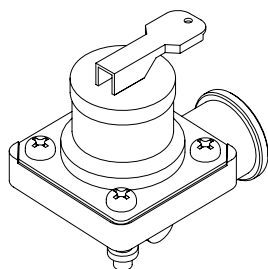
項目	内容
据付状態の点検	配管接続部の水漏れ確認、電気絶縁チェック、設置状態の確認
機能部品の点検	逃し弁の水漏れ確認、減圧弁の確認、電気部品（配線・導通）動作確認
清掃・整備	タンク下部のスケール沈殿物の排出、ストレーナ（フィルター）の清掃、機能部品の清掃

消耗部品について

逃し弁、減圧弁などは消耗部品です。水質によっては、3年程度で劣化する場合があります。点検の結果、部品交換に要する費用は、お客様にご負担いただきます。

逃し弁

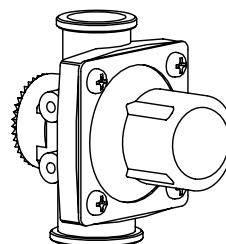
水質によっては、弁摺動部にスケールが付着したり、弁座シート部が磨耗して水漏れの原因になりますので交換が必要です。



逃し弁

減圧弁

水質によっては、減圧弁のダイヤフラム（ゴム製）の弁摺動部にスケールが付着したり、弁座シート部が磨耗して圧力調整不良の原因になりますので交換が必要です。



減圧弁

○その他の消耗部品：パッキン類・その他部品（ヒーター、ミキシングバルブ）

上記消耗部品の交換は当社の純正部品をご使用ください。

故障・異常の見分けかたと処置方法

故障かな?と思ったら

こんなとき	原因	処置
お湯が出ない お湯の出が悪い	断水している	水道局へお問い合わせください (断水が終わるまでお待ちください)
	給水配管止水せんが閉じている	給水配管止水せんを開いてください
	配管が凍結している	販売店にご相談ください
	温水器給水口のストレーナが目詰まりしている	
	給水配管止水せんのフィルターが目詰まりしている	
お湯が沸かない	分電盤などの温水器用の漏電しゃ断器(電源ブレーカー)が「OFF(切)」になっている	「ON(入)」にしてください ※2、3度続く場合は故障のおそれがありますので、販売店にご相談ください
	電源スイッチが「OFF(切)」になっている	「ON(入)」にしてください
	電源プラグがしっかりと差し込まれていない	電源プラグをコンセントにしっかりと差し込んでください
お湯がぬるい	湯沸し中(電源スイッチが点灯中)	お湯が沸くのを待ってください
	配管などから水が漏れている	販売店にご相談ください
	湯沸し中(電源スイッチ点灯中)以外のときに、膨張水排水口から排水部材へお湯や水が流れている	逃し弁を点検してください(▶▶ P12) ※湯や水が止まらないときは販売店にご相談ください
床が濡れる 水が漏れる	給水配管が結露している	販売店にご相談ください
	配管などから水が漏れている	給水配管止水せんを閉じ、電源スイッチを「OFF(切)」にし、電源プラグを抜いて、販売店にご連絡ください

アフターサービス

●サービス（点検・修理）を依頼される前に

故障・異常の見分け方と処置方法（▶▶ P18）の項とよくあるご質問（▶▶ 裏表紙）の項をもう一度ご確認ください。確認のうえそれでも不具合のある場合あるいは不明な場合は、ご自分で修理なさらないで買い上げの販売店または下記フリーダイヤルへご連絡ください。

●保証について

- ・この取扱説明書には保証書がついています。
- ・「保証書」はお買い求めの販売店が、お買い上げ日など所定事項を記入しますので、記載内容をご確認いただき、保証規定をよくお読みのうえ大切に保管してください。
- ・保証期間であれば保証規定に従い、お買い求めの販売店が無料修理いたします。詳細は保証書をご覧ください。

保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

●補修用性能部品の保有期間について

- ・この製品の補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後7年です。
- ・補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

●故障・修理の際の連絡先

- ・保証期間経過後、修理を依頼される時は、まずお買い上げの販売店に相談してください。修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。
- ・アフターサービスのご依頼や不明な点のお問い合わせは、お買い上げの販売店または下記フリーダイヤルへご連絡ください。

修理のご依頼は、
『修理受付フリーダイヤル』

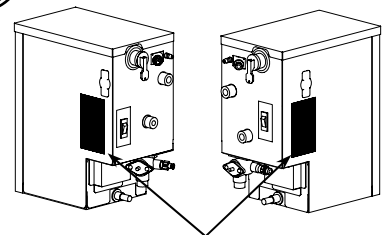


0120-557-910

受付時間 9:00~18:00
(土日祝、夏期・年末年始休業日を除く)

●修理を依頼される際のお願い

ご連絡いただく際は、できるだけ具体的に故障の状況をお知らせください。また、電気温水器に貼付してあります定格表示シールに記載の製品名・品番・製造番号もあわせてお知らせください。



定格表示シール

●修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料 診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代 修理に使用した部品及び補助材料代です。

出張料 お客様のご依頼により製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

【ご相談窓口における個人情報のお取り扱い】

タカラスタンダード株式会社およびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認のために利用し、その記録を残すことがあります。

また個人情報を適切に管理し、修理業務等に委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。

お問い合わせはご相談された窓口にご連絡ください。

仕様

型式	EH-03L		EH-03R	
設置区分	屋内左設置用		屋内右設置用	
タンク容量	約 3L			
定格	電源	AC100V 50/60Hz		
	ヒーター消費電力	600W		
外形寸法	高さ	290.5mm		
	幅	232mm		
	奥行き	145mm		
質量（満水時）	5.3k g（8k g）			
給水方式	先止め式	水道直結（減圧弁方式）		
最高使用圧力	100k Pa			
減圧弁設定圧力	80k Pa			
沸き上げ温度	約 75℃			
給湯温度	約 36℃			
接続口径	給水	R1/2 ねじ（15A）		
	同圧給水	G1/2 ねじ（15A）		
	給湯	G1/2 ねじ（15A）		
自動温度調節器	バイメタル式			
電源コード	接地極付電源プラグ（約 0.8m）			
使用可能雰囲気温度	1℃～40℃			
安全装置	温度過昇防止器、アース端子（接地極付電源プラグ）			

タカラ 小型電気温水器保証書

★ お 客 様	お名前	様
	ご住所〒	TEL ()
★ 販 売 店		
		TEL ()
★お買い上げ日		年 月 日

見 本

品 番	EH-03L EH-03R
保証期間	お買い上げ日から1年間

★印欄に記入のない場合は有効とはなりませんから、必ず記入の有無をご確認ください。記入がない場合は直ちにお買い上げの販売店にお申し出ください。本書は再発行しませんので紛失しないよう大切に保管してください。

記

本書は、本記載内容で、無料修理させていただくことをお約束するものです。

- 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で保証期間中に故障した場合には、お買い上げ販売店に出張修理をご依頼のうえ、修理に際して本書をご提示ください。無料修理をさせていただきます。
- 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、お買い上げの販売店にご依頼の上、出張修理に際して本書をご提示ください。なお、離島及び離島に準ずる遠隔地への出張修理を行った場合には、出張に要する実費を申し受けます。
- 保証期間中でも次の場合には有料修理になります。
 - 一般的な洗面器以外(例えば車両、船舶への搭載など)で使用された場合の故障および損傷。
 - 使用上の誤り、維持管理の不備および不当な修理や改造による故障および損傷。
 - お買い上げ後の専門業者以外による取付場所の移動、または落下などによる故障および損傷。
 - 弊社指定の純正部品(または別売部品)を使用せず、これが原因となる故障および損傷。
 - 塗装の色あせ等の経年変化または使用に伴う外観上の現象。
 - 海岸付近、温泉地などの地域における腐食性の空気環境による故障および損傷。
 - ねずみ、鳥、昆虫等の動物の行為による故障および損傷。
 - 火災・落雷・地震・噴火・風水害・凍結およびその他の天災地変による故障および損傷。
 - 電気・給水の供給トラブル、異常電圧(ノイズなど)などによる故障および損傷。
 - 指定外の電気(電圧、周波数)を使用したことによる故障および損傷。
 - 給水・給湯配管の錆など異物流入による故障および損傷。
 - 温泉水、井戸水などで水道法に定められた飲料水の水質基準に適合しない水の使用や異常水圧による故障および損傷。
 - 本書のご提示がない場合。
 - 本書にお客様名、お買い上げ日、販売店名のない場合、あるいは字句を書きかえられた場合。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。

This warranty is valid only in Japan
- ご転居の場合は事前にお買い上げ販売店にご相談ください。
- ご贈答品などで本保証書に記入してあるお買い上げ販売店に修理をご依頼できない場合には、修理受付フリーダイヤルへご相談ください。

お客様へ

この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店または修理受付フリーダイヤルへお問い合わせください。

よくあるご質問

●電源スイッチが「ON（入）」になっているのにランプが点灯しない

電源スイッチは湯沸し中のみ点灯します。お湯が沸き上がると消灯し、タンク内の湯温が下がると湯沸しを再開し、点灯します。

●温水器本体が熱くなっている

タンクの放熱により温水器本体が熱くなります。故障ではありません。

●膨張水排水口より排水部材へお湯が出ている

湯沸し中（電源スイッチ点灯中）に膨張水排水口より排水部材へ水（湯）が出てくるのは、故障ではありません。タンク内の水が湯になるときの膨張水が膨張水排水口より排水部材へ排出されます。

●お湯から油が出る、お湯が臭い

初めてご使用の時、湯や水に油が浮くことがあります。これは、配管工事の際の油が残っているためです。しばらくの間、使用しますと消えて正常になります。

●お湯が白く濁って見える

水中に溶け込んでいた空気が熱せられ、大気圧まで急速に減圧されるため、細かい気泡となって出てくる現象で、全くの無害です。

●使用中にお湯がぬるくなる

電気温水器は、タンク内に貯めたお湯を使用するため、お湯を連続して使用するとお湯がぬるくなります。タンク内のお湯がなくなると沸き上げに時間がかかります。（▶▶ P9 ご使用方法）
また、冬期など給水温度が低い場合、給湯直後はお湯がぬるくなる場合があります。

愛情点検

※ 長年ご使用の温水器の点検を！



ご使用の際
このようなことは
ありませんか。

- ・設置場所が濡れている。
- ・お湯がぬるい。
- ・お湯が熱い。
- ・湯沸し中以外に逃し弁から水が漏れる。
- ・その他の異常・故障がある。

▶
ご使用
中止

故障や事故防止のため、
電源プラグを抜き、給水
配管止水せんを閉じて
から販売店（据付工事店）
または、修理受付フリー
ダイヤルに点検・修理
（有料）をご相談ください。

タカラスタンダード株式会社

〒536-8536 大阪市城東区鳴野東1丁目2番1号